

中央公民館図書 9:00~16:00



お伊勢まいり 新・御宿かわせみ 平岩弓枝／文芸春秋

大川端の旅宿「かわせみ」の女主人るいは、幕末に非業の死を遂げた畝源三郎の妻千絵から「かわせみ」の面々と共にお伊勢まいりに誘われる。東海道、箱根の関所、富士川とのどかな街道風景を眺めながら慣れない旅を続けるのだが道中で次々に怪事件に見舞われる。



家へ 石田千／講談社

東京の美大で彫刻を学ぶ大学院生シンは母とその内縁の夫と海辺の町で育った。一方島に住む実父とも交流を続けている。複雑ながら穏やかな関係を保つ家族だったが、シンの心には小さな違和感が芽生え始める…。迷いもがく青年の姿を追った新しい青春小説。



金山杉俳句会報 第三九〇回

友を待つ紅ほのぼのと櫻餅
里山に雨つれて来し初つばめ
春めくや後から来る笑ひ声
こゑかけてそっぽ向かれし恋の猫
木目込の人形に眉引く春隣
老いつつも小さき夢あり春の星

セイ子
サタエ
敏子
恵美子
よし子
順子

かねやま紅風会

荒屋 阿部 勝子
筋トレにやつと慣れたり寒の明
雪解やすり寄って来る留守居猫
伊予柑の香りと安否届くなり
丹精に悔いの影なし君子蘭
春暁の澄み渡るなか月ひとつ
ぼたん雪子等仰ぎぬし眼かな
梅園を抜けるそよ風甘かりし
春時雨たじろぎ見へぬ観音堂

荒屋 関 喜美子
菅 越 庄司けみ子
七日町 青柳キエ子
七日町 柴田 栖静
羽場 坂本徳太郎
上 台 阿部 一
七日町 村松 奈風

春の雪舞ふて名残のうす化粧
春一番お宮の絵馬の高鳴りし
年金日ビオラにやつと春きざし
みちのくも一足とびの梅だより
早々と都の便り出羽の雪
逆戻り荒れる三日の春吹雪
極寒の空を祓へる錫と鈴
瞬きを見せぬ今宵の寒北斗

新刊図書 4月

- ニューヨークスタイルのマフィンとケーキ／吉野陽美
- 異類婚姻譚／本谷有希子
- 獅子吼／浅田次郎
- お伊勢まいり／平岩弓枝
- 美術するネコ in 金山／山大八木ゼミ作
- おやすみロジャー 魔法のぐっすり絵本
／カール＝ヨハン・エリー
- 夫もやせるおかず 作りおき／柳澤英子

森の子ども図書 124 交流サロンポスト内 12:30~17:00



『りゅうが あります』 (ヨシタケシンスケ／作・絵 PHP 研究所)

ぼくはハナをほじるくせがある。お母さんにいつも怒られる。理由はお行儀が悪いからだって。何か理由がほしいなあ。理由があればハナをほじってもいいんじゃないだろうか。またお母さんに怒られちゃったけど、理由があるんだよ。ぼくのハナの奥にはスイッチが入っていて、このスイッチを押すと頭からウキウキビームが出るんだ。このビームはみんなを楽しい気持ちにすることが出来るんだよ。他にもくせがあるけど、全部理由がある。みんなのまわりにお行儀の悪い人がいても、何か理由があるのかもね。